

## 参考資料 目 次

- ◇資料1・・・郡市別児童生徒数の推移（平成8年度～平成39年度）
- ◇資料2・・・高等学校教育改革における県立高等学校の概要（平成18年度～）
- ◇資料3・・・平成10年度以降の学級減の変遷
- ◇資料4・・・入学者数の状況（平成21年度～24年度）
- ◇資料5・・・学級定員の推移（昭和48年度～）
- ◇資料6・・・次の時代を担う生徒を育成するための今後の活力ある鳥取県  
高等学校教育の在り方について[概要]（第二次答申：平成21年2月）



# 郡市別児童生徒数の推移

平成24年5月1日現在

中学卒業年次 (現在の学年)	中学卒業者数												学校基本調査												推計								
	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25 (中3)	26 (中2)	27 (中1)	28 (小6)	29 (小5)	30 (小4)	31 (小3)	32 (小2)	33 (小1)	34 (5歳)	35 (4歳)	36 (3歳)	37 (2歳)	38 (1歳)	39 (0歳)	
全県 (増減)	8,291 △ 169	8,122 34	8,156 153	8,309 △ 324	7,985 △ 324	7,612 △ 373	7,533 △ 79	7,069 △ 464	6,989 △ 100	6,560 △ 409	6,557 △ 3	6,223 △ 334	6,096 △ 127	5,902 △ 194	6,083 △ 515	5,568 109	5,677 109	5,475 △ 202	5,432 △ 43	5,482 50	5,566 74	5,442 △ 114	5,246 △ 196	5,343 97	5,119 △ 224	5,031 △ 88	5,061 30	5,080 19	4,801 △ 279	4,924 123	4,797 △ 127	4,930 133	
鳥取市	1,909	1,796	1,878	1,874	1,834	1,780	1,730	1,657	1,632	2,172	2,118	1,938	1,894	1,894	1,813	1,735	1,735	1,736	1,603	1,683	1,808	1,790	1,709	1,839	1,674	1,692	1,795	1,842	1,696	1,682	1,713	1,807	
岩美郡	429	348	391	390	377	365	340	328	344	156	145	163	137	121	136	99	108	97	110	101	108	96	107	104	111	87	89	79	66	84	101	74	
八頭郡	745	724	734	750	696	687	686	608	610	390	379	362	309	343	314	303	271	237	250	262	262	234	253	208	209	206	212	199	184	195	178	167	
気高郡	301	330	319	299	329	278	301	289																									
鳥大附属中	158	154	150	160	157	154	156	154	157	155	154	159	155	154	150	152	154	153	155	159	74	69	75	76	77	69							
小計	3,542	3,352	3,472	3,473	3,393	3,264	3,213	3,036	3,029	2,873	2,796	2,622	2,495	2,512	2,413	2,282	2,300	2,257	2,105	2,193	2,252	2,189	2,144	2,227	2,071	2,054	2,096	2,120	1,946	1,961	1,992	2,048	
(増減)	△ 190	120	1	△ 80	△ 129	△ 51	△ 177	△ 7	△ 156	△ 77	△ 174	△ 127	17	△ 99	△ 131	18	△ 43	△ 152	88	59	△ 63	△ 45	83	△ 156	△ 17	42	24	△ 174	15	31	56		
倉吉市	650	680	645	663	637	654	610	520	546	530	558	520	485	497	504	488	437	434	439	445	451	429	408	407	436	404	448	433	432	397	386	448	
東伯郡	1,012	934	975	956	984	917	897	817	750	678	696	629	639	590	606	532	536	515	528	529	518	568	509	551	489	484	509	482	478	476	450	438	
湯梨浜中																																	
小計	1,662	1,614	1,620	1,619	1,621	1,471	1,507	1,337	1,296	1,208	1,254	1,149	1,124	1,104	1,134	1,037	1,002	980	992	1,003	969	997	917	958	925	888	957	915	910	873	836	886	
(増減)	△ 48	6	△ 1	2	△ 150	36	△ 170	△ 41	△ 88	46	△ 105	△ 25	△ 20	30	△ 97	△ 35	△ 22	△ 12	11	△ 34	28	△ 80	41	△ 33	△ 37	69	△ 42	△ 5	△ 37	△ 37	50		
米子市	1,653	1,708	1,607	1,777	1,578	1,581	1,510	1,441	1,479	1,436	1,477	1,478	1,485	1,434	1,542	1,380	1,471	1,411	1,479	1,444	1,499	1,475	1,400	1,399	1,409	1,377	1,297	1,414	1,323	1,428	1,363	1,405	
境港市	448	481	461	471	480	411	421	398	364	410	377	376	402	355	386	333	360	329	352	351	339	331	328	286	298	299	298	275	290	304	294	272	
西伯郡	654	650	671	624	602	559	615	580	533	453	461	405	398	335	436	369	412	333	359	353	417	368	374	395	347	351	356	302	296	300	276	268	
日野郡	266	251	253	269	229	238	214	223	203	135	129	130	132	120	124	121	88	100	85	82	80	82	83	78	69	62	57	54	36	58	36	51	
北斗中	66	66	72	76	82	88	53	54	65	45	63	60	42	48	46	44	65	60	56														
小計	3,087	3,156	3,064	3,217	2,971	2,877	2,813	2,696	2,644	2,479	2,507	2,452	2,477	2,286	2,536	2,249	2,375	2,238	2,335	2,286	2,335	2,256	2,185	2,158	2,123	2,089	2,008	2,045	1,945	2,090	1,969	1,996	
(増減)	69	△ 92	153	△ 246	△ 94	△ 64	△ 117	△ 52	△ 165	28	△ 55	25	△ 191	250	△ 287	126	△ 137	97	△ 49	2,335	2,286	2,335	2,256	2,185	2,158	2,123	2,089	2,008	2,045	1,945	2,090	1,969	

【資料1】

(注1) 平成24年以前は、3月卒業者数。  
(注2) 平成25～27年は、平成24年5月1日現在の中学校在籍者数。箕敷屋中は米子市に含まれている。  
(注3) 平成28～33年は、平成24年5月1日現在の小学校在籍者数。  
(注4) 平成34年以降は、市町村の推計による。  
(注5) 平成17年以降は、市町村合併後の新しい郡市のものである。

# 【資料2】

## 高等学校教育改革における全校の概要（平成18年度以降）

高等学校課

### 【全日課程】

学校名	平成18年度の状況		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	平成25年度の各高等学校の状況	
	学科名	小学科・コース名								大学科	小学科・コース名
鳥取東	普通⑦ 理数①	普通⑦ 理数①								普通⑦ 理数①	普通科⑦
鳥取西	普通⑧	人文科学コース④ 自然科学コース⑤	普通⑧ [人文科学④] [自然科学④]		普通⑧ (コース制廃止)					普通⑧	普通科⑧
鳥取商業	商業⑥ 英語②	商業⑥ 国際経済① 情報管理② 英語②	商業⑥ 英語①	商業⑥ 英語学科募集停止		商業⑥				商業⑤	商業科⑤
鳥取工業	工業⑤	機械① 電気① 制御・情報① 建築環境① 都市環境① 理数工学①		機械① 電気① 制御・情報① 建設工学① [は・技] 理数工学①			機械① 電気① 制御・情報① 建設工学① (コース制廃止)			工業④	機械科① 電気科① 制御・情報科① 建設工学科①
鳥取湖陵	農業② 工業② 家庭① 情報①	食品システム① 緑地デザイン① 電子機械① 電子電気① 人間環境① 情報科学①	食品システム① 緑地デザイン① 電子機械① 人間環境① 情報科学①				食品システム① 緑地デザイン① 電子機械① 人間環境① 情報科学①			農業② 工業① 家庭① 情報①	総合選択制 食品システム科① 緑地デザイン科① 電子機械科① 人間環境科① 情報科学科①
青谷		総合④								総合④	[設置系列] 人文学、自然科、理数、は・技、情報、保健
岩美	普通③	普通コース① 情報ビジネスコース① 福祉コース①				普通③ (コース制廃止)				普通③	普通科③
八頭	理数① 課題① 普通⑥	理数① 国際英語① 総合コース⑤ 体育コース①					普通⑦ [総合④、情報①] [課題①、 課題①]			普通⑦	普通科⑦ (総合コース④、体育コース①、 探究文科コース①、探究理科コース①)
智頭農林	農業③ 家庭①	園芸科学① 森林科学① 環境科学① 生活デザイン①	園芸科学① 森林科学① 生活環境①	家庭学科募集停止						農業③	園芸科学科① 森林科学科① 生活環境科① } 80
倉吉東	普通⑥	普通⑥					普通⑤			普通⑤	普通科⑤
倉吉西	普通⑤	普通⑤	普通④							普通④	単位制 普通科④
倉吉農業	農業④	生物生産① 園芸① 環境科学① 環境土木①					生物① 食品① 環境①			農業③	生物科① 食品科① 環境科①
倉吉総合産業	工業② 商業② 家庭① 情報①	機械システム① 電気システム① 会計システム① 情報処理システム① 生活デザイン① マルチメディア技術①	機械システム① 電気システム① ビジネス① 生活デザイン① マルチメディア技術①				機械① 電気① ビジネス① 生活デザイン① 情報①			工業② 商業① 家庭① 情報①	総合選択制 機械科① 電気科① ビジネス科① 生活デザイン科① 情報科①
鳥取中央青英	普通④ 体育①	普通④ スポーツ科学①	普通⑤ [課題④、情報①]		普通④ [課題③、情報①]					普通④	単位制 普通科④ (普通コース③、体育コース①)
米子東	普通⑧	生命科学コース① 普通コース⑦								普通⑧	普通科⑧ (普通コース⑦、生命科学コース①)
米子西	普通⑧	普通⑧								普通⑧	普通科⑧
米子		総合④								総合④	[設置系列] 歴史、保健、課題、生活デザイン、英語、課題、スポーツ
米子南	商業④ 家庭①	会計ビジネス① 情報ビジネス① 情報システム① 社会科学① 生活文化① 環境文化コース 調理コース			ビジネス情報③ 生活文化① [観光・調]					商業③ 家庭①	ビジネス情報科③ 生活文化科①(環境文化コース・調理コース)
米子工業	工業⑥	機械① 電気① 情報電子① 都市環境① 建設コース 環境科学コース 建築①								工業⑤	機械科① 電気科① 情報電子科① 都市環境科①(建設コース、環境化学コース) 建築科①
境	普通⑥	普通⑥					普通⑤			普通⑤	単位制 普通科⑤
境総合技術	水産② 工業② 商業① 福祉①	海洋① 食品① 機械① 電気電子① ビジネス① 福祉①					海洋① 食品・ビジネス① 機械① 電気電子① 福祉① 商業学科募集停止			水産② 工業② 商業① 福祉①	総合選択制 海洋科① 食品・ビジネス科① 機械科① 電気電子科① 福祉科①
日野		総合③								総合③	[設置系列] 進学、音楽、フットボール、福祉・健康、 情報・ビジネス

### 【定時課程・通信制課程】

鳥取緑風	定時制	総合(午前① 午後① 夜間①)								定時制	総合③ (午前①・午後①・夜間①) 90人
倉吉東	通信制	普通 約80人								通信制	普通科 約80人
米子東	定時制	普通(夜)①								定時制	普通(夜) 40人
米子西	定時制	普通(夜)①								定時制	普通(夜) 30人
米子白鳳	定時制	総合(午前① 午後①)								定時制	総合② (午前①・午後①) 60人
	通信制	普通 約80人								通信制	普通科 約80人

注) ○数字は1学年の学級数。アンダーラインは学級減。



# 【資料4】

## 県立高等学校の入学状況(H21~H23)

(単位:人)

学校名	学科	定員				H21			H22			H23			H24		
		H21	H22	H23	H24	入学者	不足数	充足率	入学者	不足数	充足率	入学者	不足数	充足率	入学者	不足数	充足率
鳥取東	普通	280	280	280	280	285	0	101.8%	283	0	101.1%	280	0	100.0%	280	0	100.0%
	理数	40	40	40	40	40	0	100.0%	40	0	100.0%	40	0	100.0%	40	0	100.0%
鳥取西	普通	320	320	320	320	323	0	100.9%	323	0	100.9%	327	0	102.2%	330	0	103.1%
鳥取商業	商業	228	190	190	190	231	0	101.3%	193	0	101.6%	192	0	101.1%	193	0	101.6%
鳥取工業	工業	152	152	152	152	153	0	100.7%	147	△ 5	96.7%	154	0	101.3%	151	△ 1	99.3%
	理数工学	38	38	38	38	38	0	100.0%	39	0	102.6%	39	0	102.6%	36	△ 2	94.7%
鳥取湖陵	農業	76	76	76	76	75	△ 1	98.7%	76	0	100.0%	77	0	101.3%	76	0	100.0%
	工業	38	38	38	38	33	△ 5	86.8%	38	0	100.0%	31	△ 7	81.6%	38	0	100.0%
	家庭	76	76	38	38	75	△ 1	98.7%	76	0	100.0%	38	0	100.0%	38	0	100.0%
	情報	38	38	38	38	39	0	102.6%	38	0	100.0%	38	0	100.0%	38	0	100.0%
青谷	総合	152	152	152	152	152	0	100.0%	150	△ 2	98.7%	105	△ 47	69.1%	139	△ 13	91.4%
岩美	普通	114	114	114	114	100	△ 14	87.7%	96	△ 18	84.2%	89	△ 25	78.1%	105	△ 9	92.1%
八頭	普通	320	320	280	280	327	0	102.2%	325	0	101.6%	283	0	101.1%	283	0	101.1%
智頭農林	農業	80	80	80	80	77	△ 3	96.3%	69	△ 11	86.3%	52	△ 28	65.0%	73	△ 7	91.3%
倉吉東	普通	240	240	200	200	248	0	103.3%	240	0	100.0%	201	0	100.5%	203	0	101.5%
倉吉西	普通	160	160	160	160	162	0	101.3%	160	0	100.0%	160	0	100.0%	159	△ 1	99.4%
倉吉農業	農業	152	152	114	114	108	△ 44	71.1%	122	△ 30	80.3%	81	△ 33	71.1%	68	△ 46	59.6%
倉吉総合産業	工業	76	76	76	76	79	0	103.9%	78	0	102.6%	76	0	100.0%	71	△ 5	93.4%
	商業	38	38	38	38	39	0	102.6%	39	0	102.6%	39	0	102.6%	39	0	102.6%
	家庭	38	38	38	38	39	0	102.6%	39	0	102.6%	38	0	100.0%	40	0	105.3%
	情報	38	38	38	38	38	0	100.0%	39	0	102.6%	37	△ 1	97.4%	38	0	100.0%
鳥取中央育英	普通	160	160	160	160	163	0	101.9%	160	0	100.0%	162	0	101.3%	157	△ 3	98.1%
米子東	普通	320	320	320	320	320	0	100.0%	322	0	100.6%	323	0	100.9%	321	0	100.3%
米子西	普通	320	320	320	320	319	△ 1	99.7%	322	0	100.6%	323	0	100.9%	320	0	100.0%
米子	総合	152	152	152	152	152	0	100.0%	153	0	100.7%	152	0	100.0%	154	0	101.3%
米子南	商業	114	114	114	114	115	0	100.9%	115	0	100.9%	114	0	100.0%	117	0	102.6%
	家庭	38	38	38	38	38	0	100.0%	39	0	102.6%	39	0	102.6%	38	0	100.0%
米子工業	工業	190	190	190	190	168	△ 22	88.4%	191	0	100.5%	188	△ 2	98.9%	195	0	102.6%
境	普通	240	240	200	200	239	△ 1	99.6%	240	0	100.0%	201	0	100.5%	200	0	100.0%
境港総合技術	水産	76	76	76	76	76	0	100.0%	78	0	102.6%	77	0	101.3%	76	0	100.0%
	工業	76	76	76	76	76	0	100.0%	77	0	101.3%	76	0	100.0%	75	△ 1	98.7%
	商業	38	38			39	0	102.6%	38	0	100.0%					0	#DIV/0!
	福祉	38	38	38	38	38	0	100.0%	38	0	100.0%	39	0	102.6%	38	0	100.0%
日野	総合	114	114	114	114	77	△ 37	67.5%	64	△ 50	56.1%	51	△ 63	44.7%	47	△ 67	41.2%

[学校要覧より 5/1現在在籍数]

## 【資料5】

### 【学級定員の推移】

学 科	年 度	S 4 8 ~	S 6 2 ~	H 4 ~	H 5 ~	H 6 ~	H 1 1 ~	H 1 7 ~ H 2 3
普通	鳥取県	4 2	4 5	4 4 (4 0)	→	4 0	→	4 0 (3 8)
	国の規準	4 5		→	4 0		→	
商業・家庭	鳥取県	4 0					→	3 8
	国の規準	4 5		→	4 0		→	
農業・工業 ・水産	鳥取県	3 8					→	
	国の規準	4 0					→	
その他	鳥取県	該当学科なし				4 0	→	3 8
	国の規準	該当学科なし				4 0	→	

( ) は、一部の学校の学級編制規準

# 【資料6】 Ⅲ 答申骨子

## 平成24年度から平成30年度までの高等学校教育改革の概要

60年ぶりに改正された教育基本法に留意して、「**個人の自己実現**」と「**社会の発展に寄与する人材**」の二つを命題とした教育の実現をめざすこととし、  
・「**自らの目標を持ち、その実現に向かって主体的に生きていくことのできる力**」  
・「**社会で求められる創造性や協調性、豊かな人間性**」  
をいかにして育むかに留意し、提言

### 諮問事項1

**社会が変化する中であって「知」「徳」「体」の育成を大切にし、社会の要請に応えることができる魅力ある高等学校教育の在り方**

諮問の背景：教育基本法第2条  
知・徳・体の調和のとれた発達  
(第1号)

生徒の**人格の形成**をめざすに当たっては、「知」「徳」「体」全般にわたる向上が必要であり、その際、自らの**将来の職業や生活を見通して、進学や就職などのために必要な学力や、社会において自立して生きるために必要な力、現代社会をめぐる様々な課題を解決へと導く能力**を身に付けることができるよう、**社会の発展への寄与**などのより高い目標を掲げての**動機付け**を行うことに留意すべき

#### <背景>

##### [生徒の現状と課題]

- 高校入試の得点分布の分散拡大
- 学習意欲が高く、進んで学習する生徒は半数に満たず、およそ半数の生徒が家庭学習をほとんどしない状況
- 不登校生徒の増加 ○全般的に低い規範意識 ○耐える力の不足
- 毎日長時間、携帯電話やゲーム機に向かい合う生徒の増加 ○体力の低下 ○性に関する意識が開放的 等

##### [本県教育を取り巻く社会の現状と課題]

- 全国的に経済が低迷し、非常に厳しい雇用情勢、労働環境になっているが、本県においては、これらに加え、さらなる人口減少や過疎化の進行も懸念  
→ 地域を挙げて育てた人材が地域を支え、次の時代の人材を育むという人材育成の循環社会を構築するため、ふるさとを愛し、より良い社会の形成に向けて主体的に行動する人材を育成することが重要
- 本県のみならず世界規模で、変化が激しく、未知の課題に試行錯誤しながらも対応することが求められる複雑で難しい社会の到来  
→ 基礎的・基本的な知識・技能と、これらを活用して、課題を見出し、解決することができる思考力・判断力・表現力等をいわば車の両輪として相互に関連させながら伸ばすことが重要

### <重点取組事項1>

自らの**将来の職業や生活を見通して、進学や就職などのために必要な学力や、社会において自立して生きるために必要とされる力**を進んで身に付けさせる取組の充実

- 地域社会を教材にして行う探究活動
- 大学や企業活動等を見学・体験 など

### <重点取組事項2>

現代社会をめぐる様々な課題を解決へと導く**能力**を身に付けさせる取組の充実

- 家庭での学習を充実させる取組
- 教科の指導の中における研究・調査や観察・実験、レポートの作成、論述といった知識・技能を活用する学習活動
- 特別活動や総合的な学習の時間等における教科等を横断した課題解決的な学習や探究的な活動、体験学習といった知識を深化させる経験を重ねる取組 など

### 諮問事項2

**生徒減少期における今後の高等学校の在り方**

諮問の背景：中学卒業生の減  
H23：5,591人  
H30：5,286人(▲305人)

生徒減少期をきめ細かな指導ができる好機ととらえ、現在の**学校数及び配置は維持し、各学校の実情に応じて学級定員を減じて、多様な学科を維持すべき**

#### <背景>

- 現在の入学生徒の状況を鑑みると、自らの適性に対する理解が不十分であったり、明確な進路目標を持っていない実態があり、また、学力や学習意欲の幅が拡大傾向にあることから、多様な生徒の個性に対応する必要性がさらに増大
- 先行き不透明な社会情勢にあつて、社会の変化に弾力的に対応できる人材を確保するため、多様な学科を維持する必要性が増大
- 前回の高校再編(H10～H17)では、生徒一人一人の個性に対応し、生徒がより充実した学校生活を送れるような、魅力と活力に満ちた学校づくりをめざしたところ  
→ 生徒の学校生活への満足度も高まり、中途退学率も減少(基本的な方向性は誤っていない)  
ただし、生徒の学校選択の実態は、自らの適性を理解し、将来の職業や生活を見通したものというよりは、単に自らの学力により選択している傾向が強い  
・・・これに対し、各学校は、裁量予算制度と学校評価制度の活用により、生徒の実情に応じた学校づくりをさらに充実させつつ対応

### <学校数及び配置>

県全体の活力や地域的なバランス、また、時代や社会の変化に対応するための資質や人材を育成する観点から、**学校数及び配置は、現状を維持**

### <学校規模>

1学年当たり4学級から8学級程度の規模が適当であるが、生徒減少期にあつては、生徒や地域の状況も踏まえ、より学校の特色を打ち出していく観点から、1学年4学級を下回る場合においても当面は学校を維持

### <公私比率>

県立、私立の募集定員の比率については、本来、各学校が魅力ある学校づくりを競い合うことにより中学生の進路希望が自ずと決まってくるものであり、当面は現状の県立80パーセント、私立20パーセントを目途としながら、生徒や保護者の学校選択の状況を踏まえて弾力的に対応

### <普通科系学科と職業系学科等のバランス>

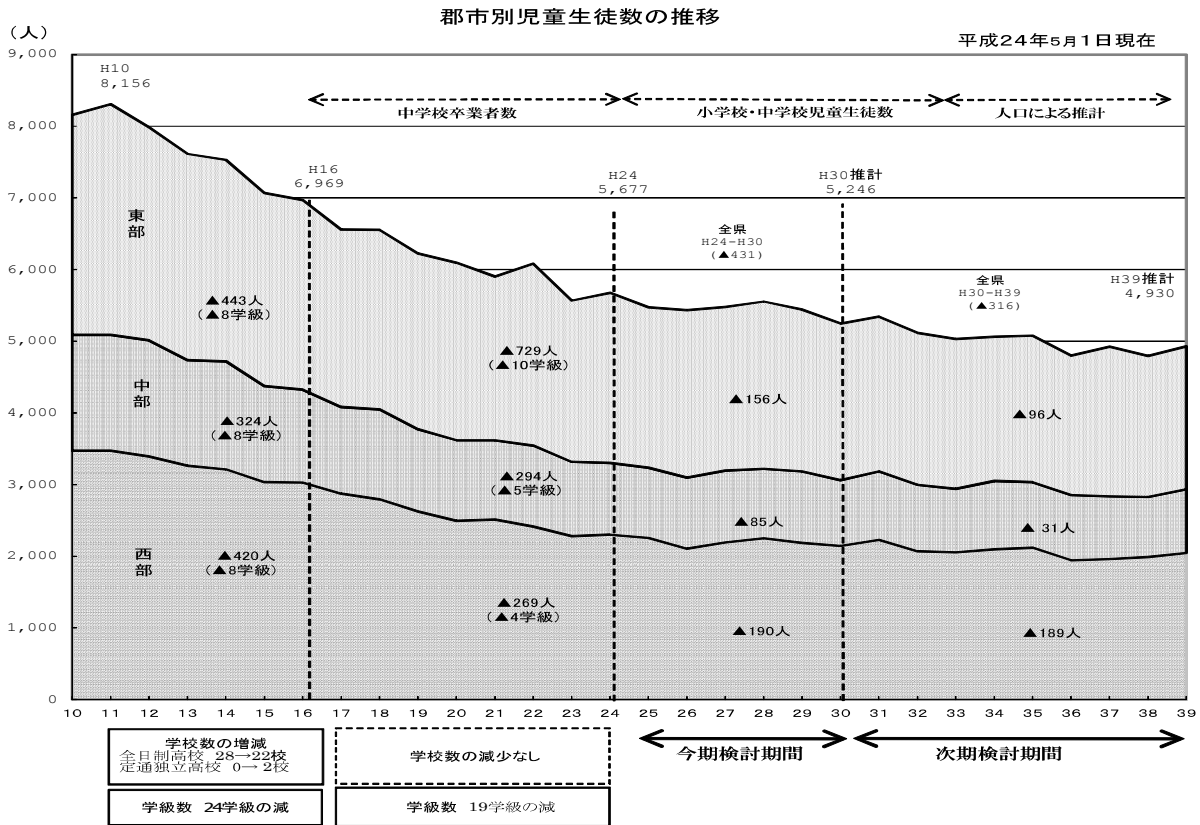
普通学科、専門学科、総合学科の募集定員の割合は、生徒の状況を勘案しつつ、保護者や産業界をはじめとした県民ニーズを重視するとともに、各学校や学科の特色を考慮して設定する必要がある。



# 今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針 (平成25年度～平成30年度)の概要

## 1 検討の背景

平成24年3月の中学校卒業生数は約5,670人であるが、今後の生徒数の減少により、平成30年3月における中学校卒業生見込数は全県で約5,240人となり、今後、中学校卒業生数が400人程度減少することが想定される。



## 2 県立高等学校の在り方

### (1) 学校の規模

学校の規模	<p>○平成21年2月の答申中、「1学年4学級を下回る場合においても当面は学校を維持する」という考え方を基本的には尊重し、中山間地域の学校で生徒数の減少が顕著な場合については、より特色のある教育活動を行う観点から、その地域の状況等に応じ、3学級未満にすることも検討</p>
今後の学級減	<p>○平成30年度までに8学級程度の学級減が必要</p> <p>○具体的な学級減については、各地域の中学校卒業生数の状況、近年の入学者数、地域の産業の実情等を総合的に勘案しながら決定</p>

## (2) 特色ある学科やコースの編成

環境エネルギー分野	本県では、再生可能な自然エネルギーの活用に積極的に取り組みつつあり、今後、エネルギーの有効利用の促進が期待される中、多様なエネルギーを活用するための電気・電子、環境化学分野等における基礎的な知識や技術を持った人材の育成を図るため、環境エネルギー分野の新たな学科やコースを工業学科に編成する。
福祉の分野	高齢者、障がい者等の福祉に関する様々な知識や技術を幅広く学習し、福祉社会の実現に広く貢献できる人材を育成するため、既存の学科やコースの教育内容の充実を図るとともに、総合学科における福祉関連の系列の内容を一層充実させる。
文化芸術の分野	本県には、メディア芸術分野において、新しい文化を創造する土壌がある。現在、それらを活用して、観光、教育・文化、産業振興などを促進するような取組が始まっており、総合学科に各種メディア芸術を体系的に学ぶことができる系列の設置を検討する。 また、創造力育成の基盤として、音楽、美術、演劇分野などを学ぶことができる環境づくりに努めるとともに、教育内容の充実を図る。
既存の学科など	平成10年度以降の高校教育改革で新たに設置された総合学科について、その理念や特長を生かし、文化芸術分野の系列を設定するなど、一層魅力を高めるために系列の見直しを行う。 また、その他の既存の学科やコースなどについても、今後の在り方を検討するとともに、総合選択制や昼間定時制などの学校や学科についても評価・検証を行う。

## 3 地域と連携した教育の推進

本県の中山間地域の学校では、生徒数の減少に伴い、入学者が募集定員を満たしていない学校もあり、このまま学校の小規模化が進めば、将来的に学校の存続が危うくなることも考えられる。このような中、地域が学校と連携して学校の新たな在り方を考えるような動きが出てきている。

島根県では、地域が学校と連携して学校の魅力を高め、県外からの入学者数が増加して学校の活性化が図られているような事例もある。

このような他県の例も参考にしながら、中山間地域の学校について、地域と連携して魅力や特色のある学校づくりを推進する。

## 4 平成31年度以降の県立高等学校の在り方の検討に向けて

平成31年度以降も生徒数が大幅に減少していく中であって、学校がより小規模化していくことが予想されることから、学科やコース等の改編等を含めた学校の再編成を行うことも視野に入れながら検討を進める。

平成31年度以降の県立高等学校の在り方については、なるべく早い時期に県教育審議会に諮問する。



## 今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針（平成25年度～平成30年度）

---

---

編集・発行 鳥取県教育委員会事務局高等学校課高校教育企画室

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町一丁目271番地

TEL : 0857-26-7517 FAX : 0857-26-0408

E-mail : koutougakkou@pref.tottori.jp

ホームページ : <http://www.pref.tottori.lg.jp/koukou/>

---

---